

特別養子縁組を前提とした新生児委託のシステムづくり

必要と考える視点

① 実親子の関係

② 里親子の関係

③ 実親と里親子への支援

基本的考え方

- 実親と実子の関係は最も重視されるべきものである。
- 実親と里親の意思を丁寧に確認する必要がある。
- 里親の養育力や里親子関係の評価を一定期間丁寧にを行う必要がある。
- 里親子の交流を丁寧に支援する必要がある。
- 養子縁組成立後も実親と里親子の求めに応じ支援を行う必要がある。

これらを踏まえ

新たな委託体制を構築する必要がある